

ポスター発表 投稿フォームの手引き

ページ1：著者・所属機関情報の入力

例えば・・・以下の場合
筆頭発表者：白熊 太郎 （動物市立アニマル小学校 特別支援学級担任）
連名発表者：灰熊 花子 （J A L D大学教育学部 教授、S E N Sセンター 所長）

ステップ1：所属機関情報の入力

No.	所属機関情報
例	〇〇大学教育学部
1	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>
5	<input type="text"/>

+ 所属記入欄追加

○1番目に筆頭発表者の所属を記入

役職・担任等は書きません。

例1) 動物市立アニマル小学校

例1の下線部について、児童生徒等の個人情報の特定を避けるために、次のように記載する方法もあります。

例2) 公立小学校

○筆頭発表者以降にポスターの連名発表者やシンポジウムの話題提供者の所属を記入

大学等の場合、学科名は記載しません。大学、あるいは学部名まで書きます。

例1) J A L D大学

例2) J A L D大学教育学部

※複数所属の場合は、欄を分け登録します。

ステップ2：著者情報の入力

No.	氏名	所属機関
例	山田 太郎	1. 〇〇大学教育学部
	中山 俊作	
	ふりがな	
	姓	
	名	
	例：やまだ	例：たろう
+1		
✓ 発表者		
	会員番号	
	会員番号	

(所属機関未選択) 右のボタンで機関を追加してください。所属機関がない場合は、以下をチェックしてください。

☐ 無所属

筆頭発表者から順番に記入します。

プラスボタンを押すと、ステップ1で登録した所属情報が選択できます。

筆頭発表者だけでなく、連名発表者の会員番号も入力する必要があります。

連名発表者が日本LD学会の会員である場合、事前に会員番号を、連名発表者本人に確認し、準備して下さい。

連名発表者が非会員の場合は、会員番号欄の記入は不要です。

発表者はポスターの場合筆頭発表者のみ、自主シンポジウムの場合は、企画者・司会者・話題提供者・指定討論者の全てにチェックを入れて下さい。

ページ2-1：講演情報の入力

このページでは、大会実行委員会等で査読され、Web論文集に掲載される原稿（タイトル、サブタイトル、要旨、本文、キーワード）を入力します。
Web上で原稿の推敲する場合、60分以上経過すると、原稿が保存されないまま自動的にログアウトしてしまいます。こまめに、「一時保存」ボタンをクリックして下さい。

○下記の注意喚起が表示されています。

この画面上で60分以上クリックを伴う操作がされない場合、自動的にログアウトします。
こまめに「一時保存」ボタンをクリックしてください。



○ページ内の「一時保存」ボタンをこまめに押しましょう。

ステップ1：発表カテゴリーの選択

希望する発表カテゴリーを選びます。

ステップ2：タイトル・サブタイトル・要旨の入力

読者が一目見て、どのような実践・研究内容であるかイメージできるタイトルをつけましょう。
例1) 読み困難を示すLD児への範読指導の効果の検討
例2) 就学前のRAN課題成績は小学校3年段階の読み困難を予測する

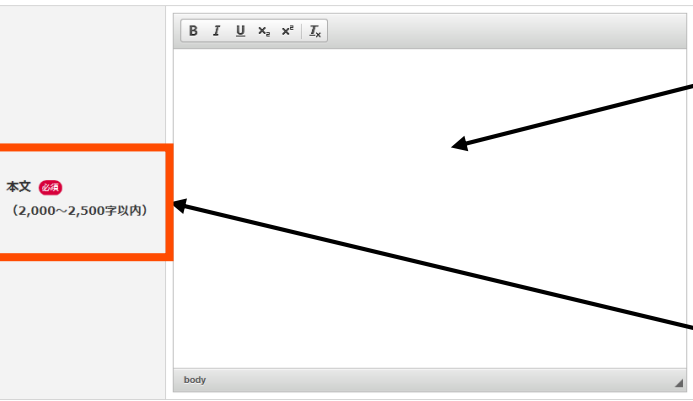
例3の場合、サブタイトルがあるとより読者にとって分かりやすいです。
例3)
タイトル：不器用さを示す発達障害児の認知特性の検討
サブタイトル：DCDQとKABC-IIを用いて

概要を300字以内で入力します。

○ポスター発表の場合

【目的】【方法】【結果】【考察】を意識して書きます。
【目的】【方法】【結果】【考察】の4つ
の見出しを使うと、分かりやすいです。
見出しを使っても改行は必要ありません。

ステップ3：本文の入力



本文には、【目的】【方法】【結果】【考察】【引用文献】【倫理的配慮】の内容を含む必要があります。
必ず項立をして、記述して下さい。

2000～2500字以内で入力して下さい。
改行・空行は必要最小限にし、PDF論文集で2ページを超えないようにします。
また図や表を使うことはできません。
図表はポスター発表時にご提示ください。

○本文の入力イメージ
あくまで一例です。発表内容に合わせて、適宜必要な内容を書いて下さい。また原稿作成前に、日本LD学会年次大会・研究集会の過去の論文集を検索し、類似の発表内容の構成を確認にすると良いでしょう。

- 1. 目的
XXXXXXXXXXXXXX
- 2. 方法
調査期間・調査場所：
研究対象児：
手続き：
- 3. 結果
XXXXXXXXXXXXXX
- 4. 考察
XXXXXXXXXXXXXX
- 5. 引用文献
XXXXXXXXXXXXXX
- 6. 倫理的配慮
本研究は、個人情報および倫理面に配慮し行った。また発表と掲載について、XXXXXの同意を得た。
また利益相反関係はない。

○先行実践／研究を踏まえ、現状の問題を整理し、発表する実践／研究を行った目的を書きます。

読み障害の出現率は言語体系によって異なることが知られている（上野，2006）。2020年の英語指導必修化に伴い、……本研究の目的は小学生における英語に関するLDの実態について明らかにすることである。

○発表する実践／研究を読者が具体的に想像できるように書きます。

調査期間・調査場所：20XX年4月～20XX+1年3月、A市の公立小学校で行った。
研究対象児：通級指導教室に通う小学校3年生（8名）、4年生（7名）、…が参加した。研究は学校長の承認を得て行った。また保護者には文章を配布し研究について説明を行い、同意を得た。希望者には研究データから除外したり、追加の説明を行った。
手続き：アルファベット読み課題（灰熊ら，2014）と○○課題を実施した。また……
分析：学年ごとに平均と標準偏差を求め、……

個人情報保護の観点から、年度、地名、氏名等をアルファベットで匿名化します。

実践・研究実施上、行った倫理的配慮を本文に明記します。
項目6にまとめても構いません。

倫理的配慮を行った事実が査読者に分かるように明記します。記載がない場合、確認される場合があります。

○結果は、得られたデータの説明や分析結果を書きます。結果の解釈は、考察に書きます。
○引用文献は本文で引用している文献を書きます。

○利益相反関係がある場合はその事実を明記します。
例1) ○○社から研究で使用した教材の無償提供を受けた（研究費～円の提供/助成を受けた）。
例2) 発表者は研究で使用した○○介入法の開発者と雇用関係にある。

ページ2-3：講演情報の入力

ステップ4：キーワードの記入

○キーワードを3つ記入します

	キーワード
例	読字障害
1	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>

キーワードが思い浮かばない場合は、日本LD学会年次大会の論文集を検索し、類似の発表内容のキーワードを参考にすると良いでしょう。

ページ3：個人情報・倫理のセルフチェック

近年、医学分野に限らず、教育分野や心理学分野でも、研究に参加する対象児者や協力児者の人権や個人情報の保護、研究倫理を改めて重要視する動きがあります。LDやADHD等のある子どもや成人の方、保護者、関係者に対して支援を行う私たちも、自分の実践研究や調査研究等が対象児者・協力児者の人権等を十分に守っているか振り返る必要があります。このような流れを受け、日本LD学会では倫理綱領を2019年11月に改訂しました。この機会に一度、ご確認ください。

なお、このセルフチェックは、過去の実践や研究の発表を妨げるものではありません。また所属機関等によってはこの動きに対応していない場合もあると思います。将来的に、このような倫理的チェック項目を事前にクリアして実践や研究の発表を行うようになる、というご理解のもとでご使用下さい。ただし、過去の実践、調査等の発表であっても、倫理的問題が大きいと疑義が生じた場合、審査段階で質疑や修正等を求める場合があります。また審査を経た結果、不採択となる場合もあります。予めご了承のほど、よろしくお願いいたします。

ページ4：確認画面

ページ1からページ3までの内容について、確認画面になります。

まだ投稿は完了していません。

登録内容を確認し、ページ最下部にある「登録」ボタンをクリックして下さい。

ページ5：投稿完了画面

👏 **投稿を受け付けました。**

左の画面が投稿完了の合図です。登録されたメールアドレスに、投稿完了メールが配信されますので、確認して下さい。

論文PDFの確認方法

操作	確認内容	カテゴリ	更新
投稿完了画面	登録番号：C0000001		
🔍 検索			
📄 原稿PDFを表示			

投稿完了画面から「トップへ戻る」でトップページに戻ると、左の画面のように登録内容が確認でき、「原稿PDFを表示」をクリックするとPDFイメージが確認できます。

※投稿後、自動生成に数分時間がかかる場合があります。

投稿完了後には・・・

大会実行委員会より、登録内容について審査が行われます。審査終了後、審査結果（採択、修正等の依頼、不採択）がメールで配信されますので、確認行って下さい。

採択された場合、企画開催費・研究発表費の納入が必要になります。マイページより手続きを行って下さい。